

【REvision – Webinar 2020年3月4日】

セッション4： 転換する電力ビジネス

Transformations in the Power Business



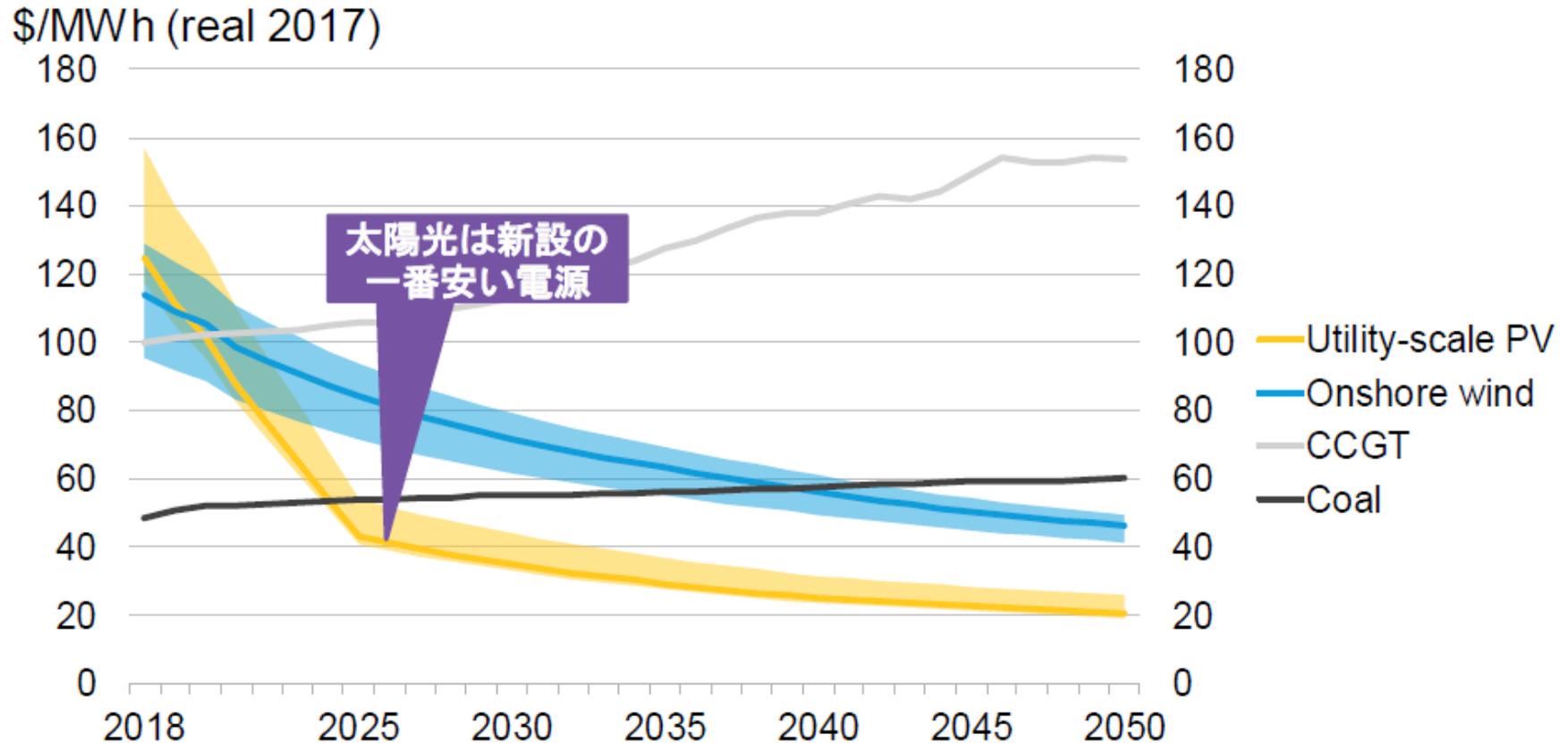
モデレーター

公益財団法人 自然エネルギー財団

常務理事 大野輝之

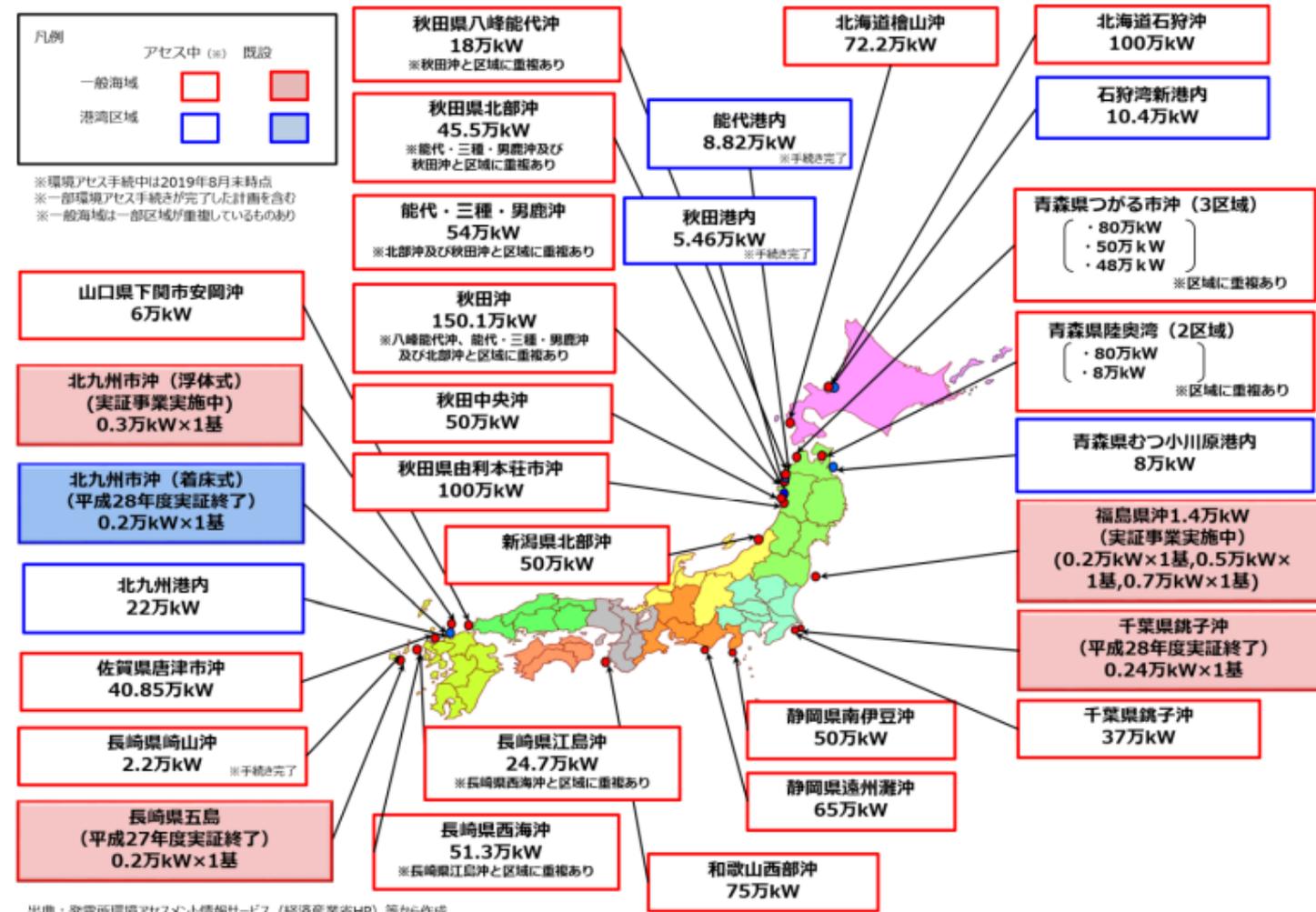
転換期1：自然エネルギー主力電源化が実現段階に

①太陽光発電価格が低下、火力発電より安価に



転換期 1 : 自然エネルギー主力電源化が実現段階に

②大規模な洋上風力発電プロジェクトの登場



転換期 1 : 自然エネルギー主力電源化が実現段階に

③大手電力ユーザーが自然エネルギー電力を求める

RE-Users

自然エネルギーユーザー企業ネットワーク

サミット2020



自然エネルギー財団
RENEWABLE ENERGY INSTITUTE

3つの戦略：2030年までに目指す姿

目指す方向の共有：**44%**以上を自然エネで*

コスト目標：**自然エネ < 化石燃料****

小売価格：**自然エネ100%***=他の電源**

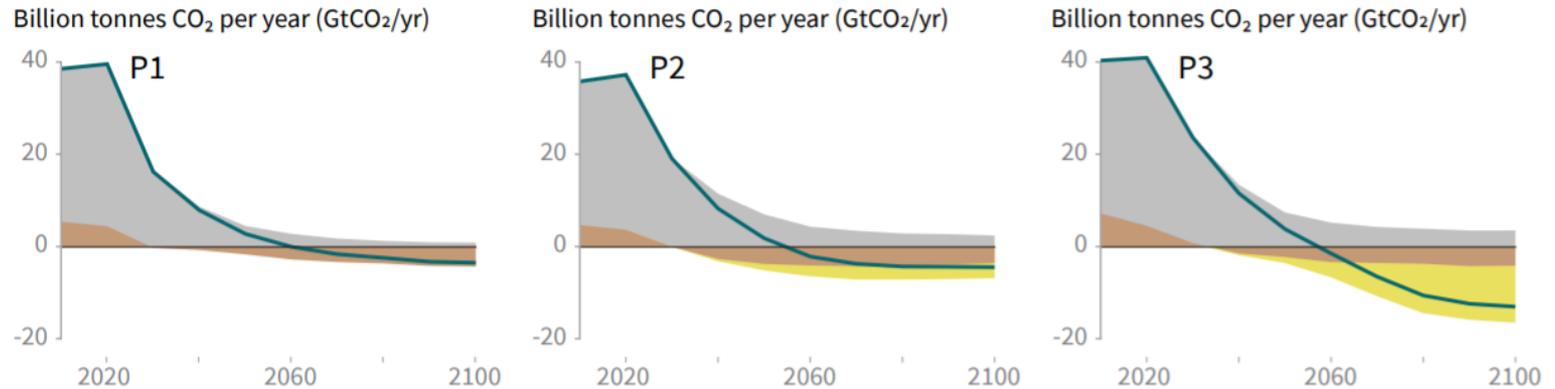
*国全体の発電電力量に占める割合 **太陽光・風力と石炭・天然ガスとの比較

***基礎排出係数・調整後排出係数ともにゼロの電力メニューを指す

転換期 2 : 気候危機回避の成否をかけた10年が始まる

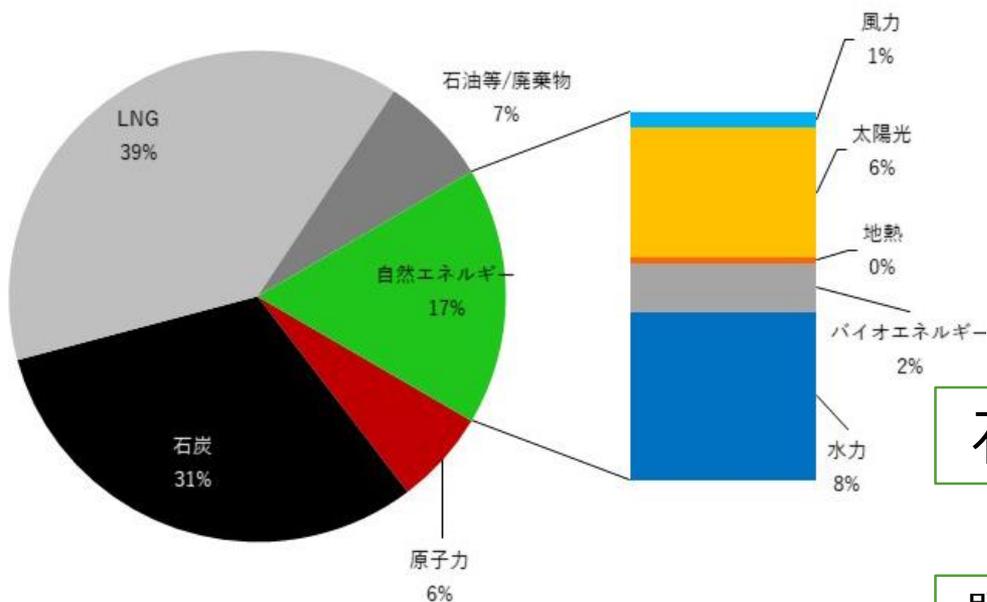
IPCC 1.5°C特別報告書 : 2030年までにCO₂半減を提起

● Fossil fuel and industry ● AFOLU ● BECCS



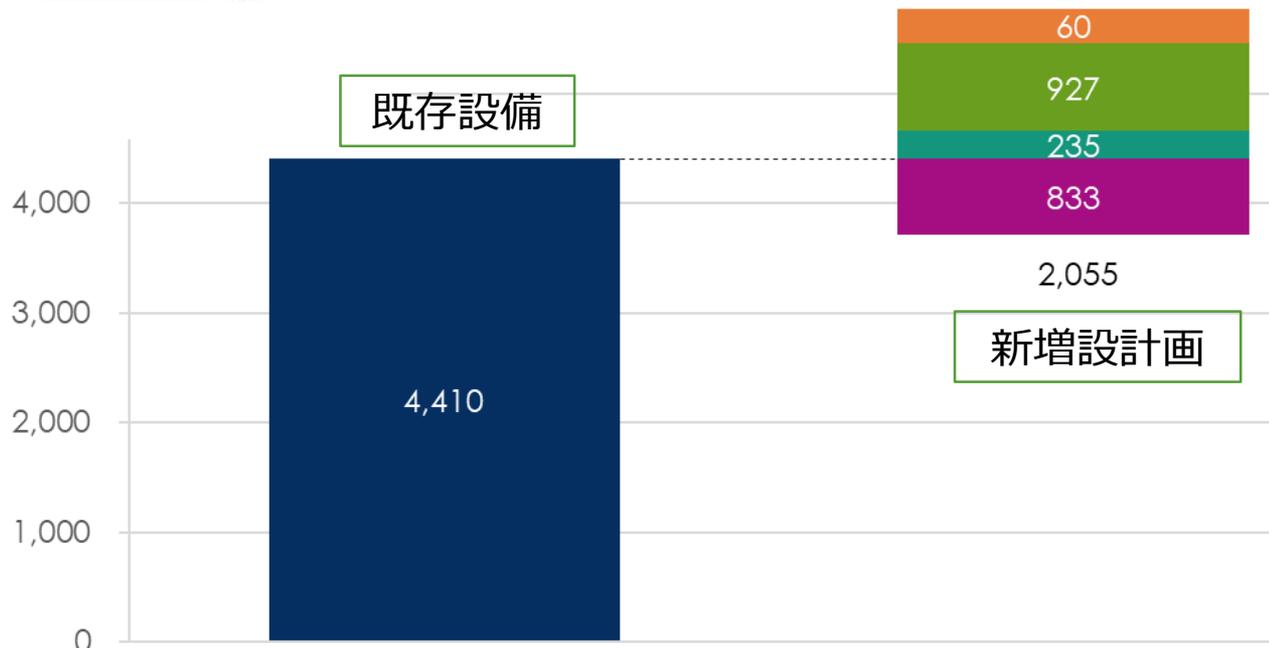
Global indicators	P1	P2	P3
<i>Pathway classification</i>	No or low overshoot	No or low overshoot	No or low overshoot
<i>CO₂ emission change in 2030 (% rel to 2010)</i>	-58	-47	-41
↳ <i>in 2050 (% rel to 2010)</i>	-93	-95	-91
<i>Kyoto-GHG emissions* in 2030 (% rel to 2010)</i>	-50	-49	-35
↳ <i>in 2050 (% rel to 2010)</i>	-82	-89	-78
<i>Final energy demand** in 2030 (% rel to 2010)</i>	-15	-5	17
↳ <i>in 2050 (% rel to 2010)</i>	-32	2	21
<i>Renewable share in electricity in 2030 (%)</i>	60	58	48
↳ <i>in 2050 (%)</i>	77	81	63
<i>Primary energy from coal in 2030 (% rel to 2010)</i>	-78	-61	-75
↳ <i>in 2050 (% rel to 2010)</i>	-97	-77	-73

転換期 2 : 気候危機回避の成否をかけた10年が始まる

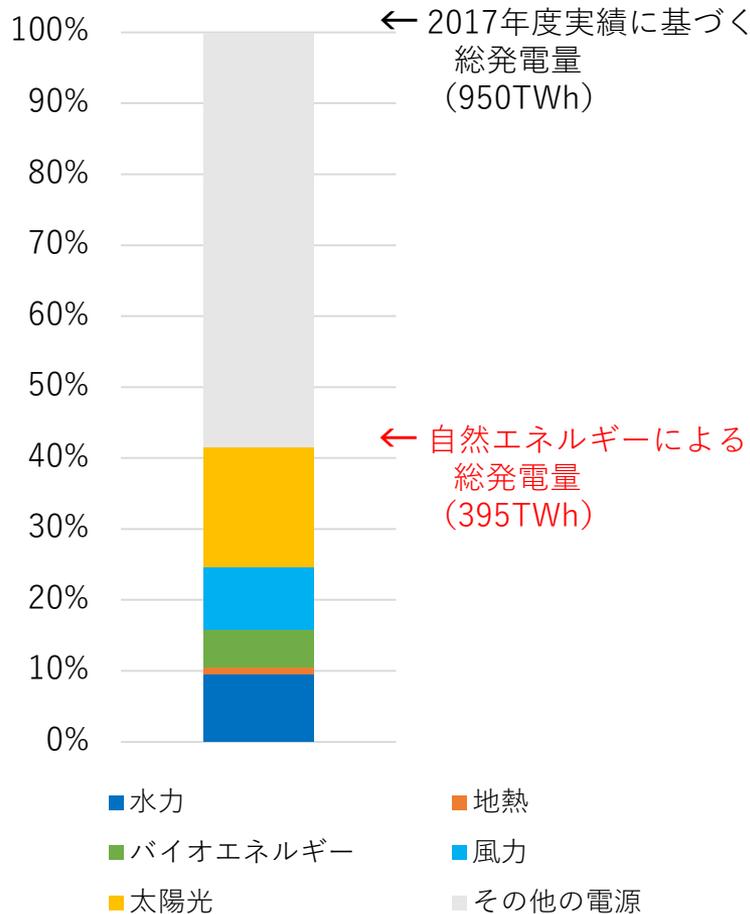


2018年度
発電量内訳

石炭新增設プロジェクトの動向



2030年までの自然エネルギー拡大の展望



太陽光150GW、風力36GW
+
水力、地熱、バイオは基本計画
の見込み

自然エネルギーで40%強を供給

エネルギー効率化で電力需要を
10数%削減すれば、50%へ

2030年の持続可能な電源構成（財団想定ケース）